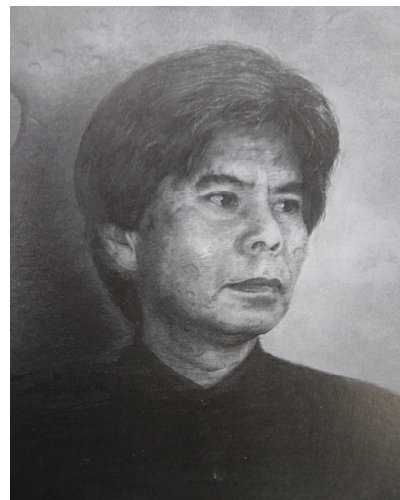


石神中学校だより17号

発行日：令和4年1月12日

2021重点目標〈課題を持って自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司

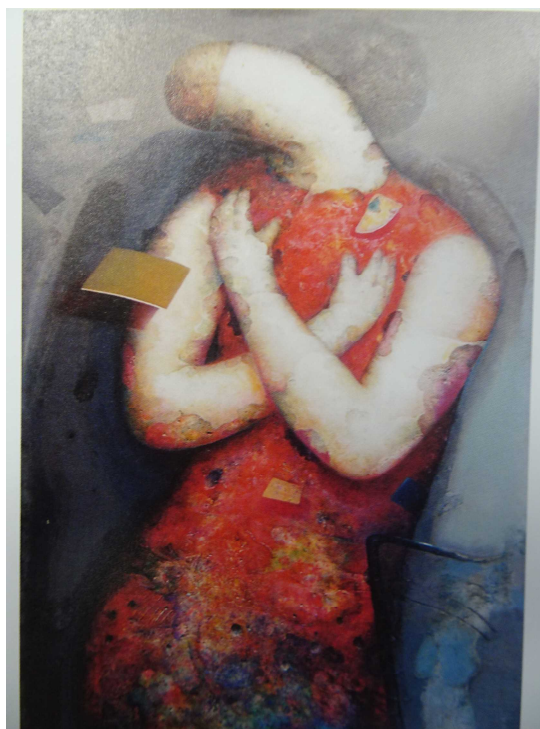
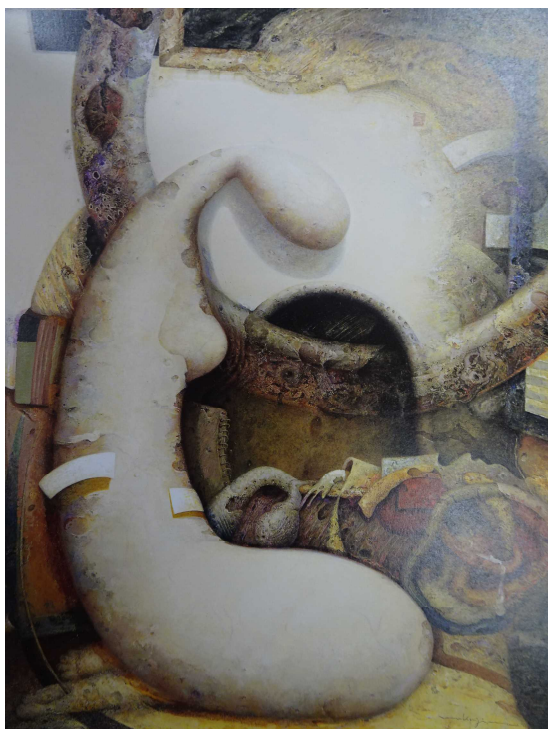
本校卒業生、画家の中島敏明さんをご存じでしょうか。中島さんは、南相馬市原町区高倉で生まれ、1963年（昭和38年）に本校を卒業しました。将来、歌手になりたいという夢を持ち、声楽を学ぶため、東京高等文化学院に進学しました。バンド活動に励みながら、地道に自分の夢を追いかけていたとき、アパートの近くにあった画家加藤一豊氏と知り合いになりました。加藤画家のアトリエに遊びに行った際、画室の作品に感動し、絵に興味を持つようになり、そこから自分の世界観を表す作品を描くようになっていったということです。歌手になる夢から、画家になる夢と変わっていきました。家族を養うため、企業に就職しますが、絵画制作を続け、のちに多くの展覧会で入賞するようになっていきました。長年にわたり二科展評議員や千葉県美術会常任理事、日本美術家連盟会員なども務めています。



中島敏明作 自画像

内閣総理大臣賞や千葉県教育功労者なども受賞しています。このたび、志賀吉延同窓会長さん（中島さんと同級生）の声かけにより、母校である石神中学校に作品寄贈となりました。数多くの作品の中から、「elegy'98-3」（油彩 100F）と「ムネキュン」（油彩 50P）の2作品を選出し、本校2階多目的教室に展示されます。後日、本校において作品の寄贈式を行う予定になっています。

本校には、ブロンズ彫刻の立体作品が多く展示されていますが、新たに平面作品も展示されます。他校にはない素晴らしい芸術作品が身近に触れあえるのも本校の特徴の一つです。



左作品「elegy'98-3」（油彩100F） 右作品「ムネキュン」（油彩50P）（写真：中島敏明画集 elegyと慈愛より）

ねがい ～ネット依存とゲーム依存にならないために～


インターネットやゲームは、身近でとても便利なものです。2018年に厚生労働省は、中高生の14%に当たる約93万人がネット依存の疑いがあると発表しました。授業中の居眠りや心身の不安定など、生徒の家庭・学校生活にも影響が現れているケースも報告されてきています。そこで、ネット依存やゲーム依存にならないために、それぞれの問題点について考えてみたいと思います。

＜ネット依存とゲーム依存とは＞

ネット依存：インターネットに没頭してしまうあまり、パソコンやスマホが使用できないとイライラしたり、人間関係を煩わしく感じるなど、対人関係や日常生活に影響が生じているにも関わらず、インターネットの使用をやめられない状態とされています。

ゲーム依存：(1)ゲームをする時間や頻度を自ら制御できない、(2)ゲームを最優先する、(3)問題が起きているのに続けるなどといった状態が12カ月以上続き、社会生活に重大な支障が出ている状態を言います。(WHO：世界保健機構より)

＜ネット依存・ゲーム依存の影響＞

心への影響	<ul style="list-style-type: none">・感情をコントロールできない。・意欲が低下する。・自己中心的になる。・思考能力が低下する。・攻撃的になる。・うつ病やその他の心身症の原因となる。 など	
体への影響	<ul style="list-style-type: none">・睡眠不足・睡眠障がい・眼精疲労による視力低下、慢性的な頭痛・めまい・吐き気・肩こり・食生活の乱れによる栄養障がい・体力の低下・エコノミークラス症候群	
社会性への影響	<ul style="list-style-type: none">・インターネットやゲームに没頭し、睡眠不足によって学校や職場に行けなくなる。・お金の使い過ぎによる経済困難になる。	

＜ネット依存・ゲーム依存にならないために＞

- (1) スマホやゲームを常に持ち歩かない。
- (2) パソコンは毎回シャットダウンする。
- (3) インターネットやゲームを使用しない時間を作る。(デジタルデトックス)
注：デジタルデトックスとは、一定期間スマートフォンやパソコンなどのデジタルデバイスとの距離を置くことでストレスを軽減し、現実世界でのコミュニケーションや、自然とのつながりにフォーカスする取り組みです。
- (4) 1日の利用時間を把握する。
- (5) ネット依存・ゲーム依存の症状がある、不安がある場合は、専門機関に相談する。
 - 福島県精神保健福祉センター　こころの健康相談ダイヤルへ　0570-064-556
 - 各心療内科　等

お願い：1月に入り、さらに寒さが厳しくなってきました。朝夕、路面凍結が心配され、生徒の自転車登下校における転倒など懸念されるところです。また、自転車による歩行者への接触・衝突事故も心配されます。交通安全については、学校でも指導していますが、ご家庭でも声かけ等をお願いいたします。

